



Xmasプレゼントと 猫の家

「上田に箱階段がステキな家がある」「ペットと暮らすならこの家をお手本にするといい」
竣工から2年。スタッフの間でもたびたび話題に上がる、遊び心にあふれたお住まいを訪ねました。
その家づくりは、クリスマスの話題からはじまったそう。
Kさまのユニークな家づくり物語を、どうぞご覧ください。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.78

玄関の丸窓が、住まいの顔にK様らしい
柔らかな個性を印象付ける。



上田市 K様ご家族/
ご夫婦と娘さんと猫1匹
竣工/H26年12月 設計/片桐寿美
敷地面積/106.78坪 IC/川村裕子
延床面積/33.08坪 施工/林 大輔



家づくりのきっかけを
おしえてください！



ご主人 三年前の12月のはじめに、何気なく「クリスマスのプレゼント何がいい？」と尋ねたら、妻の答えは「家がほしい」!!
いつもは何も要らないと言う妻だったのでびっくりしましたが、だからこそ「じゃあ、建てるか」とすんなり決意できました。



奥様 ちょうど子どもが生まれてなんとなくマイホームを意識しはじめた時期だったので、**いいタイミング**と思い、言ってみました(笑)。それからすぐ住宅公園に行き、展示場の外にあった「グッドデザイン賞受賞 土間サロン」の看板に惹かれて真っ先に工房信州の家に入って、年末にはプランの打合せを始めました。とんとん拍子でしたが、不思議と迷いはなかったです。



ご主人 工房信州の家の**素材や空間づくり**が、**とても肌に合う**感覚を持たれたからだと思います。スタイリッシュというより、古き良き民家のように気取らずのんびりのできる家が理想で、工房信州ならびつたりの家づくりができそうだと思いました。当初は寛ぎの家の象徴として「縁側」をイメージしていましたが、上田展示場の**土間サロン**を見て「**縁側より実用的!これだ!**」と。



ほかに、**楽しい工夫**がたくさんありそうですね!!



奥様 TVで見たことのある「箱階段」や「丸窓」など、憧れのイメージを設計に取り入れて頂きました。スタッフの方からも階段脇の縦格子のデザインをご提案いただいたり、選木ツアーの木の枝を建具の引手に活用してもらったり。「**古民家風**」という

テーマが**いろいろなアイデア**に発展して、楽しかったですね。



ご主人 もうひとつの大事なテーマは「猫と暮らす家」。土間やトイレの建具にキャットドアを付けて、自由に行き来ができるようにしました。ただ住み始めてみたら、梁の上に登ろうとしたり想像以上に活発に動きまわるので、吹抜けにキャットウォークを付けてもらいました。後付けなのでブラケット金具が表に出てしまいましたが、**家じゅうを飛び回る愛猫の姿を見られて満足**。アパート時代と比べ体重もかなり減りました!



奥様 娘と猫が無垢の床でのびのびとじゃれ合う姿を見ると、この家を建てて良かったなあと思います。家族みんなにとって**最高のクリスマスプレゼント**でした!



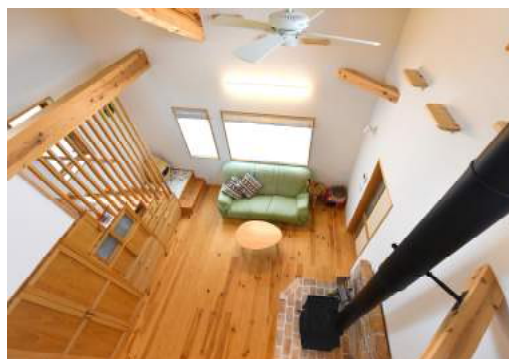
憧れの古民家テイストを演出する箱階段。リビング周りの雑貨はもちろん、子ども服や家族みんなのインナーなどをたっぷり収納し、とっても実用的!



休日のゆったり朝ごはん、汚れてもへっちゃらのキッズスペース、光がたっぷり入る洗濯干し場と、万能に使える土間サロン。



キャットウォークへは、子ども室から出入りができる。各空間のつながりのデザインも魅力的。



プランナー
片桐寿美

当初からご要望いただいた「箱階段」を、玄関入った正面に印象的に見えるよう設計しました。竣工から2年。住めば住むほどK様らしい家に育てていただき嬉しいです!



Focus on the Owner!!

ご夫婦の出会いの場となった消防団にちなんで、和室の襖紙はオレンジと紺色のツートンカラー! 消防服やヘルメットは階段下に収納し、いつでもさっと出動できます。(取材日も活動から帰宅したばかりのご主人を撮影させて頂きました)

